

# 女性活躍による地域創生取組事例発表

今年のフェスティバルのテーマは「文化創生 皆で織りなす 京の力」。地域で女性活躍に取り組む団体による地域活性化のための活動報告や今後の展望などを紹介し、京都から地域創生を発信しました。



## 活動紹介VTRの主な内容

### ★ 地域資源を活かした女性視点のまちづくり 京都府連合婦人会

- ・相 楽 地元食材を活用した食育活動
- ・八 幡 石清水八幡宮の歴史学習
- ・長岡京 竹を活用したイベント「竹あそび」参画
- ・京丹波 美女山登山道の保全活動
- ・福知山 中学生への郷土食の食育体験活動
- ・舞 鶴 赴任してこられた中国の方との交流
- ・宮 津 親子のふれあいフェア
- ・与謝野 着物卒業式
- ・京丹後 イクメン大学・婚活イベント

### ★ 京都丹後鉄道の無人駅マルシェによる地域活性化 京都府女性の船「ステップあけぼの」丹後地域

### ★ 災害に負けない地域づくり勉強会の開催 京都府女性の船「ステップあけぼの」中丹地域

### ★ 地元食材を活かしたマルシェ実施 京都府女性の船「ステップあけぼの」南丹地域

### ★ 若者世代(大学生)とともに考えるワークショップの開催 京都府女性の船「ステップあけぼの」京都市域

### ★ 絵筆体験講座を通したまちおこし 京都府女性の船「ステップあけぼの」乙訓地域

### ★ 山城地域のお茶文化に関する講演・体験会 京都府女性の船「ステップあけぼの」山城地域



団体と今回の活動について御紹介ください。

たの てるこ  
京都府連合婦人会 会長 田野 照子氏  
(以下、「田野(連合婦人会会長)」)

京都府連合婦人会は、昭和22年の結成以来、女性ならではのアイデアと行動力で地域に根ざした活動を展開してきました。急速に少子高齢化が進行する中、「地域創生」について、昨年の中央研修会において、講演を聴いてグループ別ワークショップを行い、地域を活動の拠点としている私たちにできることは何だろうと議論したのがスタートでした。

現在、京都府連合婦人会は、府内9郡市町の婦人会・女性会の支部で構成され、それぞれの地域の特色を掴んで、女性の視点で地域の魅力を発信する取組を実施しています。例えば、長岡京では、竹と筍の産地ですので、竹藪の整備や子どもたちも一緒になって竹の口ウソク作りなど、竹を使ったイベントに参画しています。与謝野は、丹後ちりめんの産地で、婦人会の会員が染めから地元専門家に習い、仕立て、小学生の卒業式に、希望者に貸し出すという事業を実施し、大変好評を得ています。京丹後では、「地域創生」の中で、大きな課題は少子化ということで、イクメン大学を開講し、参加者を丹後の綺麗な海にお呼びして若者の出会いを創出する婚活事業を開催しています。



さわい やすこ  
京都府女性の船「ステップあけぼの」 会長 澤井 安子氏  
(以下、「澤井(ステップあけぼの会長)」)



「ステップあけぼの」は、皆様ご存じのように、「京都府女性の船」に乗り、その中で宿泊研修をする京都府事業の修了生で構成され、現在約2,000名の会員が地域で活動しています。会員の中には、起業家の方もおられますし、育児や介護、地域創生といった様々な分野で活動する女性グループもたくさんできており、このような活動がステップあけぼのを支えています。今回、各12支部がそれぞれの分野で、それぞれの土地の魅力ある資源を活かしながら、中身の濃いイベントを企画・実施しました。どうぞ皆様、ぜひ興味を持っていただきたいと思います。

おだに ひさよ  
京都府女性の船「ステップあけぼの」 丹後地域 小谷 久代氏  
(以下、「小谷(丹後)」)

丹後地域では、地域の活性化を図るために、昨年、京都丹後鉄道の駅舎を利用してマルシェを開催しました。今回は「海と山との食文化」をキーワードに、海は伊根湾が望める伊根浦公園で、山は昨年できなかった京都丹後鉄道の京丹後大宮駅でそれぞれマルシェを開催しました。

伊根浦公園では、地域の食材を使って、冷やしアカモクうどんとへしこ茶漬けを皆で試食して作りました。試食会では新聞社と観光協会を呼び込むことで、胃袋をしっかりと掴み、事前の広報や当日の設営など、協力体制を万全にして取り組むことが



できました。また、京丹後大宮駅のマルシェも大盛況で、駅始まって以来の集客となりました。世代を超えて楽しめるシャボン玉飛ばしや子どもから大人まで皆で参加できるもの、そして地域の皆さんの活動発表の場となるべく工夫しました。

やまおか まさこ  
京都府女性の船「ステップあけぼの」中丹地域 **山岡 昌子氏**  
〈以下、「山岡(中丹)」〉

中丹地域では、2013・2014年に二年連続で由良川の洪水に遭いました。そのため、昨年は被災された方やボランティアの方の実体験に基づくパネルディスカッションなどを盛り込んだ防災勉強会を行いました。今年は熊本地震を受け、いつ起こるかわからない地震を含めた大災害に備えるため、避難所運営に関する勉強会を実施しました。

まず、避難所運営に携わった方から講演をいただき、続いてHUG(避難所運営ゲーム)を実施しました。HUGは、避難所運営の疑似体験をして、被災時にも落ち着いて行動できるよう判断力を養うゲームです。HUGを体験した参加者からは、緊急時の緊張感を感じながら学べた、とっさの時の判断力を養い、緊急時には私たちにもできることを手助けしたいなどの感想が寄せられました。



かつら きくこ  
京都府女性の船「ステップあけぼの」南丹地域 **桂 喜久子氏**  
〈以下、「桂(南丹)」〉

南丹地域は食の宝庫と言われており、地元食材を使い地域をPRしていこうと取り組む女性グループがたくさんあるため、昨年度からこの南丹地域の伝統食を広げていくマルシェを開催しています。その中で、恒例にしていきたいのが、30人で力を合わせ、約10メートルのお寿司を巻く「きずな巻き」というもので、30人が今後50人、100人と参加者の裾野が広がり、長くなっていければ嬉しいです。会場は子どもたちが自然と親しみ、環境を考える施設「地球環境子ども村」と併設した所を利用したので、「秋の虫たちと遊ぼう」、「かまどで炊いた新米おにぎりを握ろう」といった自然体験ができるコーナーを用意することができました。また、親子で楽しめるコーナーとして、手芸教室や簡単料理教室といったワークショップも企画し、その他、地元食材を使った加工品販売やフリーマーケットなども開催しました。

広報については、各市町の教育委員会に依頼して、全小学校の生徒約7,000名を対象にチラシを配布することができました。

せきや さちこ  
京都府女性の船「ステップあけぼの」京都市域 **関矢 幸子氏**  
〈以下、「関矢(京都)」〉

今年創立119年を迎えた京都大学で勉強されている学生さんと私たちが意見交換することによって、世代を超えた交流ができるのではないかと思います、若者とともに考えるワークショップを企画しました。

食、医療、女性の活躍、学生から社会へ、生活一般の5つのテーマでグループディスカッションを行いました。学生さんの考えは思っていた以上にしっかりされていて、私たちも良い刺激を受けました。お互いの考えや知識を共有することで充実した取組となりました。今回、参加された学生さんが社会人になられた時、この経験がどこかで役に立ってくれば嬉しいです。







京都府女性の船「ステップあけぼの」乙訓地域 <sup>みやけ</sup> <sup>みちよ</sup> 三宅 三千代氏  
〈以下、「三宅(乙訓)」〉

以前、私が乙訓地域出身の絵筆の先生に筆の持ち方や描き方を教えていただいたことがあり、絵筆を始めてから、街並や風景の見方も変わり、心も豊かになったことが、今回の取組を実施するきっかけです。そのため、地域の皆さんにもこの気持ちを共感していただきたいと思います、昨年から開催している「こんなこと簡単! ちょっと知っとこ講座」の第3回目として計画しました。

受講された皆さんの様子は、私が初めて体験したときと同じように、最初は戸惑っておられたのですが、終わりが近づくと、笑顔もこぼれ、楽しそうな声も聞こえてきて、皆さんとても楽しんでおられました。

京都府女性の船「ステップあけぼの」山城地域 <sup>おおなか</sup> <sup>じゅんこ</sup> 大仲 順子氏  
〈以下、「大仲(山城)」〉



山城地域では、昨年、自分たちの地域を知るため、宇治・城陽・久御山、綴喜、相楽の3つの地域に分けて地域の魅力を再確認するためのツアーを実施しました。京都府が来年、「お茶の京都」として、山城地域を中心に京都の魅力を世界に発信していくこともあり、私たちも何かお茶の魅力を発信できないかと思い、今年のテーマを「やましろ おもしろ もっと知ろう!〜お茶でつながる山城〜」にしました。来年、私たちも自信をもってお茶の魅力を発信していけるようにと、お茶についていろいろと学べる内容を盛り込みました。

三日後の11月1日に開催します今回の取組は、午前中は宇治茶伝道師の方からお茶の歴史や文化とその効能について、また、女性の茶農家の方から「13年目の百姓」と題してご講演いただくなど、知識を身につけていただき、午後からは、玉露の飲み比べや煎茶の美味しい淹れ方教室、お茶席や茶だんご作りなどさまざまなワークショップに取り組みます。また、ほうじ茶のどら焼きや抹茶カプチーノ、お茶ラスクなど特産品のお茶を使ったたくさんの販売品があります。五感で楽しんでいただけるイベントになっておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。

開催して良かったことや、苦労したことを教えてください。

**田野(連合婦人会会長)** 地域創生に取り組もうということで、それぞれの地域が、「自分の地域にはこんな良いところがある」など意見を出し合い、改めて自分の地域には素晴らしいものがあったのだということを見つめました。それを活動に繋げていくためにはどうしたらよいのか、大変難しいのですが、歴史や自然など、地域には掘り起こせば本当に良いものがありますので、それを発信していくのが私たちの役目だと思っています。

**小谷(丹後)** それぞれの会員さんの頑張りがすごく、例えば、不要品バザーでも、地域の会員さんが全て集めてくださり、かなりの数が集まりました。



駐車場確保については、伊根の行政の方や観光協会の方、また、教育委員会の方にもお世話になり、伊根小学校の校庭を全部開放していただくなど、本当にたくさんの方にお世話になって実現できたマルシェです。

**山岡(中丹)** やはり準備が大変でした。HUGをスムーズに進行するために、役員がまず体験して、その大変さを一つ一つ克服することにしました。1回ではスムーズにいかず、複数回実施しました。その時に役員の心が一つになったように思いました。役員の皆さんに体験していただいた甲斐あって、本番はスムーズに進み、本当に良かったと思います。

**桂(南丹)** 一番は、当日のお天気に恵まれたことです。また、会場の交通の便が悪いので来場者がとても心配だったのですが、いざ蓋を開けてみると、駐車場がいっぱいで入れないくらいの方が来てくださいました。もう一つは、フリーマーケットのことですが、会員の皆さんから本当にたくさんの物をご提供いただき、大変な賑わいになりました。会員の皆さんのご協力の賜物だと思います。

大変だったことは、準備段階で、当初、他の団体とコラボして実施する予定だったのが、突然できなくなり、たった2ヶ月間でこのマルシェを単独で仕上げる必要があったことです。皆さんのおかげでここまでとり着けたのだと本当に感謝しています。

**関矢(京都)** 学生さんと共同参画ということで、ポスターやチラシを学生さんをお願いしました。「教えられたり、教えたり」というテーマのとおり、輝く次世代の方々に教えられたり、教えたり、お互いの知識を交換させていただきました。また、京都大学の時計台の中の資料館や尊攘堂という明治時代の建物の中などを案内していただきました。若い方のアイデアを取り入れた共同参画ができたと思います。

**三宅(乙訓)** 日常的に絵筆を持つということが、私たちには遠い生活だと思います。会議で提案した時も、役員の皆さんも最初は消極的で、一生懸命広報に努めました。そして役員だけで事前に講習会も開き、当日参加された方と同じように役員の皆さんも気持ちが乗ってきて、当日の教室では、先生の補佐をして、役員も地域の皆さんも一緒に楽しめたのが本当に良かったと思います。

先生の教え方もお上手で、とても簡単に、上手に紅葉の絵が描けるようになりました。

**大仲(山城)** 山城地域はとても広いので、実行委員の皆さんに集まっていたくのは大変でした。しかし、進めていく中で、初めてお会いする方々とも横の繋がりができてきて、ネットワークが広がっていくのを感じることができました。取組の開催はこれからなので、お天気のことや平日開催であることなど、いろいろ心配することは多いですが、みんなで大歓迎しておりますので、どうぞ男性も女性も皆様揃って山城にお越しください。

今回の取組を踏まえて、今後の目標や未来に繋げるものを教えてください。

**田野(連合婦人会会長)** 地域社会は、その多くが女性の手によって支えられてきたのではないかと考えています。魅力ある地域にしていくなためにも、地域をよく知る私たちが、その魅力を深く掘り下げて、外へ向けて、たくさんの発信をしていきたいと思っています。

私たちが理念として大事にしているのは、「継続」です。会員それぞれが力を出して続けていくことが、私たちの大きな使命だと思っています。継続して取り組むことで、私たちも地域も元気になります。今後も取組を進めていきたいと思っています。

**小谷(丹後)** 開催した2回のマルシェで、たくさんの方にお会いしました。今回でできたネットワークや若い方たちのパワーを活かして、丹後地域の2市2町を私たちが少しでも盛り上げていけたら嬉しいなと思います。また、今後も京都丹後鉄道の駅舎を拠点にして地域活性化を図り、そのことで京都丹後鉄道、そして丹後地域の発展の一助となれば嬉しく思っています。

**山岡(中丹)** 昨年と今年で防災について学び、たくさん知識を貯えました。今年の勉強会に参加された方からいただいたアンケートの結果を元に、今後は自治会でもしっかりと防災の体制を固め、緊急時に即座に求められることにも落ち着いて対応できるように、広く地域の方々にも発信していくことが必要だと思います。

**桂(南丹)** 今回、マルシェを開催するにあたり、準備期間が少なくて苦労しましたが、いろいろな方に助けられ、皆が協力することによって知恵が生まれ、大きな力になるということを実感しました。このネットワークを活かし、これから地域の「美味しい食」をどんどんアピールしていきたいと思っています。

**関矢(京都)** 京都支部は他の地域とは異なり、支部単独でこの事業を運営しています。今後も地域のニーズや課題に則したイベントが実施できるように、27名の幹事とともに検討を重ねていきたいと思っています。

**三宅(乙訓)** 乙訓地域の人が一冊絵筆を持っているような、ゆとりのある町になっていけばいいなと思います。心に好きな絵を描いたり、好きな紙に絵を描いたり、四季を通じて豊かな心を持った人が乙訓にもっと増えれば嬉しく思います。私も心に絵筆を持ち、乙訓の地域をアピールしていきたいと思っています。是非一度、乙訓へお越しください。

**大仲(山城)** 「トリプル1!」11月1日、会場は京田辺市立中央公民館です。取組開催が三日後ですので、意気込みと宣伝をさせていただきます。京田辺市は「玉露の日本一」に輝いた町でもあります。玉露の飲み比べ等もありますので、どうぞ皆さんお越しください。そして、私たちと一緒に来年のお茶の京都を盛り上げていていただきたいと思っています。山城地域にどうぞお越しください。

**澤井(ステップあけぼの会長)** 「ステップあけぼの」は、北から南まで12の支部を抱えております。それぞれの地域で特色を活かした取組や成果をお話いただきましたが、その中でもすごいと思うのは、会員同士の連携がととても取れているということです。「ステップあけぼの」には「同じ釜の飯を食った」という仲間意識があります。今後もそれを基盤に色々な場面で活躍していきたいと思っています。また、自治体の審議会委員等へもこの会からどんどん人材が出ておりますので、「ステップあけぼの」には豊富な人材があるということをもっとアピールしていきたいと思っています。

どこの組織でも同じだと思いますが、高齢化に伴う会員の減少が大きな問題です。しかし、それにも負けない会員の皆さんの力で、今後もステップアップしていきたいと思っています。

——今日の皆さんの発表、お聞きになっている皆さんの心にはどう届きましたか。なるほどと思うことや、今後の活動に役立てることがあったのではないのでしょうか。

取組を実施することで、企画メンバー同士のネットワークだけでなく、外部の協力を得て巻き込むことによって、地域創生をしようという意気込みが大変感じられて、大きなパワーをいただきました。

今日は皆さん、本当にありがとうございました。

やまうち みわ

司会進行：NHK京都放送局 キャスター **山内 美和氏**

